

急な災害に備えましょう！



子ども・子育てプラザ和泉で親子防災講座を開催しました！

7月17日に、公益社団法人東京都助産師会災害対策委員の熊谷典子さんをお呼びして、「災害時、大切なわが子とご自身を守るために」というお話をいただきました。災害に対する備えは特別なものではなく、「日常+α」という意識が大事だということ学びました。

幼い子の特徴は？

• 体の特徴…体が小さい・いろいろな機能が未熟・水分が多い・皮膚が弱い・
ストレスを感じやすい（言葉にできない）

• 緊急時でも好きなもの・馴染みのあるものしか食べない

災害時でも日常に近い環境が大切！

非常用持出袋にも
好きな食べ物や
お気に入りのおもちゃ
を入れておこう！



ローリングストック法

備蓄品の考え方・賞味期限を見やすく書き、定期的に入れ替えを！

備蓄品の基本（最低3日分。奨励1週間分）

少し多めの習慣のストック（おむつ・トイレットペーパー・ラップ・ウエットティッシュ・
大型ビニール袋・ガムテープ）、水（軟水）、防臭袋

特別な非常食ではなく、常日頃から慣れ賞味期限の長めの食品

干物（ひじきわかめなど）・切干大根・野菜ジュース

☆参加者の感想☆



普段から防災意識を持って生活していくことが大切だと改めて考えさせられました。

防災グッズなど、家のものを見直すきっかけになりました。赤ちゃんのものなども、買い足そうと思いました。



防災豆知識！

いつも持ち歩いている荷物にも、小型の懐中電灯（100円ショップで買えます）や、携帯充電器をプラスして入れておくといざというときに役立ちます。

また、停電になると電子決済などは使えなくなるので、多少の現金も「千円札や硬貨で」用意しておくとう安心です。

元日の能登半島地震を受け、改めて防災意識を高めようと企画した講座でしたが、8月にも日向灘地震が発生し、震災をより意識せざるを得ない状況となりました。幼いお子さんを連れての避難生活についてなど、具体的にイメージして心の準備をしておきたいですね。

子ども・子育てプラザ和泉での防災訓練

子ども・子育てプラザ和泉では、毎月防災訓練を実施しています。月によって内容が異なり、利用者の方と共に地震や火事を想定した避難訓練を実施したり、職員間で災害時の体制や動きの確認をしたりしています。

皆さんはどのような備えをされていますか？



子ども・子育てプラザ和泉で遊んでいるときに
もし、強い地震が起きたら・・・

- ご自分とお子さんの頭を守って、揺れが収まるのを待ちましょう。
- むやみに外に飛び出すことは危険です。周りの状況をよく確認してください。（館内にいることが危険と判断した場合は、駐輪場への避難を誘導します。）

この近くの震災教養所は和泉市立和泉図書館です。最初が避難に適さないと思われる場合は、震災教養所に避難してください。震度5強以上で閉館されます。

覚えておこう！

この近くの広域避難場所は、和泉市立和泉図書館です。震災教養所も地震ごと閉館される場合は、広域避難場所へ避難することになります。